



# 2016年・夏 事業者版

## 賢く節電♪ Challenge マイナス10%! 節電・省エネアクションメニュー

### ★ 重点アクション ★



冷房の適正な運転（室温 28℃）と COOLBIZ スタイルの推進

デマンド監視装置や省エネ性能の高い設備等の導入・活用

自らの創意工夫による節電・省エネ対策を推進し、「信州省エネパートナー」を宣言

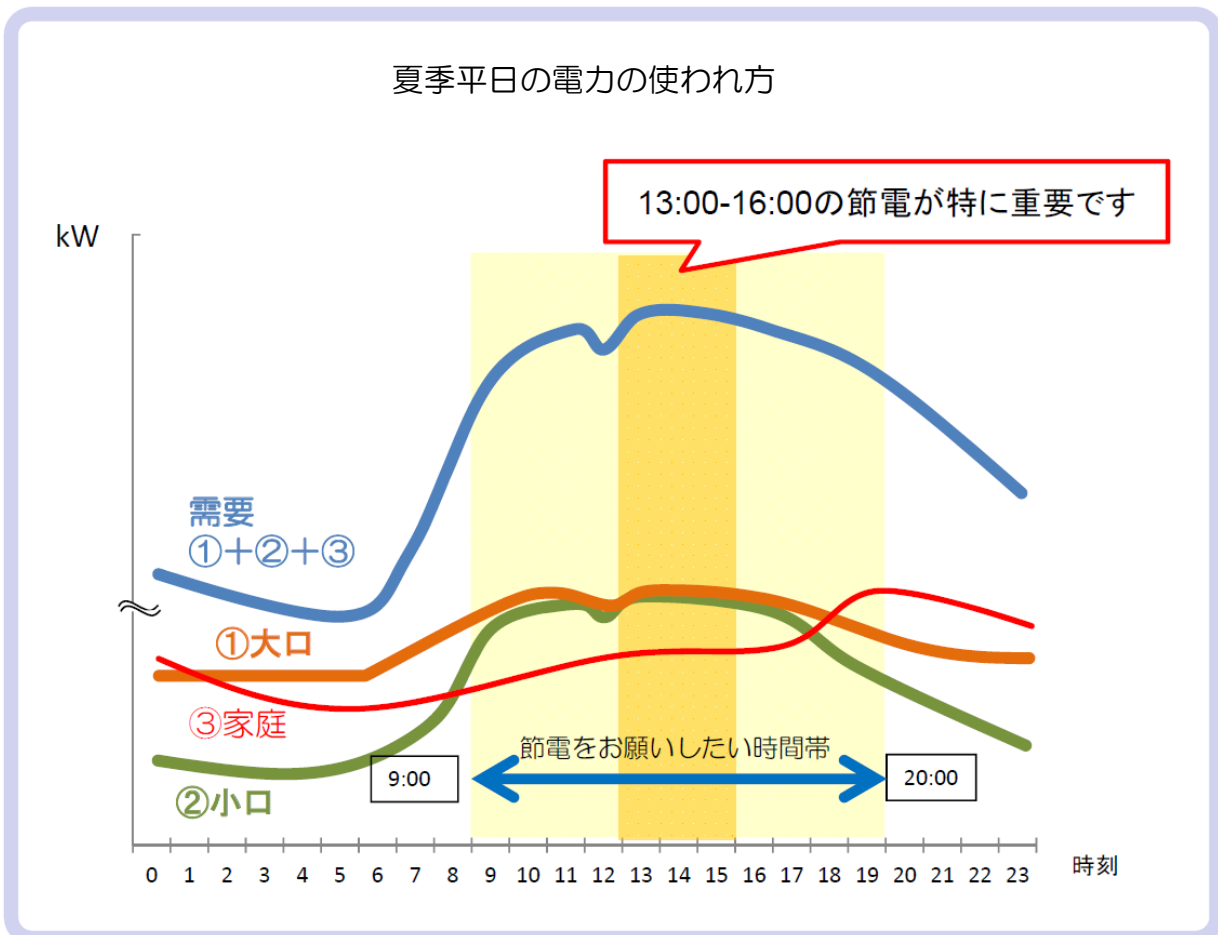


節電対策メニュー		効果を高める取組など	削減効果
空調	室温は 28℃を目安に、適切な温度管理を行う（+2℃の場合） 4%カット	○使用していないエリア（会議室、廊下）は空調を止める	2%カット
		○室内 CO2 濃度の基準範囲内で換気ファンを停止、または、外気導入量を調節する	5%カット
		○ブラインド、遮熱フィルム、すだれ等の活用	3%カット
		○室外機周辺の障害物を取り除くとともに直射日光を避ける ○フィルターを定期的に清掃する	+α
照明	照度を確認し、作業に適した照度（改正 JIS に準じた照度）に設定（例：事務室 500 ルクス程度）	○照明を半分程度間引きする	13%カット
		○使用していないエリアは消灯する	3%カット
		○昼休み等は完全消灯を心掛ける	+α
高効率照明ランプの採用	○従来型蛍光灯を高効率蛍光灯や LED 照明に交換する	設備毎 ~40%カット	
OA 機器	省エネモードの設定	○長時間席を離れるときは電源 OFF かスタンバイモードに	3%カット
		○ディスプレイの明るさ調節（輝度を 40%に設定）	約 23%カット
		○退社時のプラグ抜き徹底	+α
生産設備等	圧縮機の吐出圧力・吸気温度の見直し	○使用側の圧力の見直しにより、コンプレッサの供給圧力を低減する。（0.1MPa 低減時）	8%カット
		○コンプレッサの吸気温度を低減する。（吸気温度 10℃低減時）	2%カット
	設備更新	○更新および新設時には、トップランナー機器（最も省エネ性能が優れている機器）を採用。	+α
その他	デマンド監視装置等の導入・活用	○電力の「見える化」により、最大使用電力を抑制し、契約 kW を下げることで年間の電気代削減につなげる。	+α
	環境マネジメントシステムの活用	○環境マネジメントシステムの運用を通じて、エネルギー管理・適正使用を図る。（エコアクション 21、ISO14001、ISO50001 等）	
	節電啓発	○「信州省エネパートナー」に登録し、事業所としての節電目標と具体的アクションを定めるとともに、従業員への周知徹底を図る。 ○店舗、事業所を「クールシェアスポット」として登録する。 ○従業員に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。	

※ 経済産業省「夏季の節電メニュー」等を基に長野県が作成。  
 ※ 各々の建物の利用状況や設備内容によって効果は異なる場合があります。  
 ※ 適切な室温管理、こまめな水分補給等により、熱中症にご注意ください。

# 夏季の電力需要の特徴

需要全体としては、特に日中(13:00-16:00頃)に最大ピークとなる傾向にあり、特にこの時間帯の節電が重要となります。



## 熱中症にご注意下さい

屋内でも熱中症にかかる場合があります。  
適切な室温管理や水分補給に留意頂く等、十分にご注意ください。  
特に、ご高齢の方や体調に不安のある方はお気をつけください。

熱中症に関する情報

[http://www.env.go.jp/chemi/heat\\_stroke/index.html](http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/index.html)